

令和4年度 令和8年度(2022-2026)

概要版

# 第2期 岡山市スポーツ推進計画

Okayama City

Sports Promotion Plan

- The 2nd phase - 2022 - 2026

2026

2025

2024

2023

2022



令和4(2022)年9月

岡山市

OKAYAMA CITY

## 1 計画策定の趣旨

本市では、平成23年に施行された「スポーツ基本法」、平成24年に策定された国の「スポーツ基本計画」を参考に、子どもから高齢者まで、市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境の実現を目指し、平成24年に「第1期岡山市スポーツ推進計画」（以下「前計画」という）を策定しました。更に平成30年2月には中間見直しを行い、各種スポーツ施策を推進してきました。

前計画の策定以降、国内においては、スポーツ庁の創設や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「東京大会」という）の開催、本市においては、「おかやまマラソン」がスタートした他、「全国高等学校総合体育大会（インターハイ）」等の大規模スポーツ大会の開催や東京大会に向けたキャンプ誘致事業など、スポーツに注目が集まる大きな出来事がありました。また、本市をホームタウンとするトップチームが4チームとなり、地域の一体感の醸成や地域活性化に大きく貢献しています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市民は社会・経済活動の自粛を余儀なくされました。スポーツの分野においても、多くの大会やイベントが中止又は延期となるなど、人々の運動機会が失われたことも影響し、前計画の成果指標である「成人の週1回以上のスポーツ実施率」は、目標値には届いていない状況にあります。

一方で、東京大会における本市ゆかりのアスリートや本市のトップチームなど、スポーツに取り組む人々のひた向きの姿は、多くの市民に勇気や希望、感動をもたらし、スポーツへの関心を高めるとともに、私達に「スポーツの価値」や「スポーツの力」を改めて気付かせてくれました。また、コロナ禍においては、「新しい生活様式」のもと、毎日の生活の中でスポーツに親しむ時間や環境を確保することが求められるなど、スポーツの必要性や重要性が再認識されています。

スポーツは、人々の生活や心を豊かにし、私達に笑顔や感動を与えてくれます。

少子高齢化やデジタル化、働き方改革など、社会情勢やライフスタイルの変化にも柔軟に対応しながら、スポーツを通じて健康で明るく、豊かな社会を築くことが求められています。

こうした背景を踏まえ、前計画の取組結果や、スポーツを取り巻く現状と課題を整理の上、本市のスポーツ振興における「方向性」「目指す姿」「具体的施策」を示すことで、市民・行政・多様な主体が一体となって本市のスポーツ推進に取り組むことができるよう「第2期岡山市スポーツ推進計画」（以下「本計画」という）を策定します。

## 2 計画の位置付け

本計画は、スポーツ基本法に基づく「第3期スポーツ基本計画」を参酌して定める本市のスポーツ推進に関する計画で、「岡山市第六次総合計画」のスポーツ分野の個別計画として位置付けます。

## 3 計画期間

国の「第3期スポーツ基本計画」の計画期間に合わせ、令和4年度から令和8年度の5年間を、本計画の計画期間とします。

## 4 前計画の取組内容と評価

「スポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成」「東京オリンピック・パラリンピック等を通じた地域振興と競技力の向上」「ライフステージに応じたスポーツの振興」を基本方針とし、各種施策を展開しました。

### ■成果指標：「成人の週1回以上のスポーツ実施率」

【岡山市市民意識調査（隔年調査）】

平成29年度:31.0% → 平成31(令和元)年度:39.0% → **令和3年度:39.9%**

【目標値:53%(令和3年度)】

## 1 本市のスポーツを取り巻く現状と課題

本市のスポーツを取り巻く現状と課題について、令和3年度に実施した「岡山市スポーツに関する市民意識調査」の結果を中心に、前計画の基本方針ごとに整理します。

### (1) 基本方針 1 「スポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成」

- トップチーム支援については、支援対象チームが4チームとなり、「子どもに夢を与える存在」等の価値を感じている人の割合が高い反面、公式戦の観戦経験者の割合はまだ低い状況です。  
コロナ禍で低下した市民の観戦意欲を向上させ、チームへの関心・愛着・応援機運を高める取組の推進が必要です。  
また、アリーナ競技においてホームゲームの会場確保が困難になっている状況への対応が課題となっています。
- おかやまマラソンについては、「する」「みる」「ささえる」すべての面で参加者が増加し、地域の一大イベントとして定着しました。  
持続的な大会としていくため、感染症対策を踏まえた開催スタイルの確立や、ボランティア・医療救護スタッフ等の支える人のやりがいや満足度を高める取組が必要です。
- 大規模スポーツ大会の誘致については、令和7年第79回国民体育大会<sup>1</sup>冬季大会開催へ向けた取組が始まりました。  
大規模な大会やイベントの開催・誘致に関する市民ニーズは高い状況です。
- 平成30（2018）年には、スポーツコミッション（SPOC機構）が設立されました。  
当機構等との連携により、大規模スポーツ大会開催の機会を捉えたスポーツツーリズムの推進など、スポーツを通じた地域活性化策に取り組んでいくことが重要です。

### (2) 基本方針 2 「東京オリンピック・パラリンピック等を通じた地域振興と競技力の向上」

- 事前キャンプ誘致事業やアスリートとの交流事業など、本市の東京大会へ向けた取組に対し、意義を感じている人の割合は高い状況です。また、東京大会での郷土勢の活躍は、本市に勇気や感動をもたらしました。
- 東京大会を契機に、パラスポーツに関心を持った人の割合は高く、アーバンスポーツ・ユニバーサルスポーツ等の「新たなスポーツ」への注目も高まりました。  
東京大会に向けた取組の成果や環境の変化を、東京大会のレガシーとして、本市の競技普及のみならず、本市のスポーツ振興全般に活かしていく取組が必要です。  
また、パラスポーツの普及においては、多様性や共生社会への理解の向上についても意識して取り組む必要があります。

### (3) 基本方針 3 「ライフステージに応じたスポーツの振興」

- 幼児期、小・中学校期においては、小・中学校における運動習慣定着化事業におけるモデル校指定や、トップアスリートによる学校訪問事業といった新たな取組が始まりました。一方、子どもの体力テストの結果は低下傾向となっており、全国平均にもやや劣る状況です。「子どもの運動習慣化の促進」への市民ニーズは高い状況であり、子どもの体力・運動能力の向上、運動習慣の定着に向けた取組が必要です。
- スポーツ庁により、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革の方針が提示され、その中で、令和5年度以降休日の部活動の段階的な地域移行を図る方針となっており、実施主体や指導者の確保など、今後の対応が課題となっています。

<sup>1</sup> 令和6年第78回大会から「国民スポーツ大会」に名称変更。

- 成年期・全世代においては、「P H O<sup>2</sup> (Positive Health Okayama)」（以下「P H O」という）の実現に向けた健康促進に関する取組や、企業による健康経営等が促進されてきました。高齢期においては、フレイル対策事業など、「健康寿命」延伸に向けた施策が展開され、障害者スポーツにおいては、パラリンピックの開催を契機に関心が高まり、共生社会の実現に向けた市民意識も向上しました。一方で、障害者の余暇活動におけるスポーツ実施状況は低下傾向にあります。
- （一財）岡山市スポーツ協会（以下「市スポーツ協会」という）により市内大学との連携事業等の主体的な事業が展開されるなど、各世代に向けたスポーツ振興施策が、スポーツ関連団体や行政、大学、企業等との連携・協働により推進されてきました。引き続き、市民ニーズに合った事業の継続や発展、各種大会への参加促進が期待されます。
- 各世代において、身近で手軽に始められる運動など、運動習慣定着化に関する情報や機会が求められており、このようなニーズへの対応が必要です。
- スポーツ施設に関しては、「岡山市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画（スポーツ施設）」の策定を通じ、計画的な維持修繕など、安全で持続的なスポーツ環境の提供に努めました。「スポーツ施設の整備・設備の充実」に関する市民ニーズは高く、計画的な修繕等による機能の維持向上や、新たな施設整備についての検討など、市民がスポーツに親しむ「場」の提供に努める必要があります。

#### （４）新型コロナウイルス感染症拡大の影響

- 「する」「みる」「ささえる」全てにおいて市民のスポーツ活動が停滞し、市民とアスリートの交流機会や、本市の情報発信の機会が失われました。一方で、身近で手軽な運動を行う人が増加しており、今後は、「新しい生活様式」に合わせたスポーツ振興施策を推進する必要があります。
- 感染症拡大の状況下で開催された東京大会では、頑張る選手達の姿に注目が集まり、多くの人々に感動と元気をもたらしました。それにより再認識された「スポーツの持つ価値」や「スポーツの力」を活かしていくことを意識の上、各種取組を推進していくことが重要です。

## 2 本計画における施策の方向性

地域のスポーツ活動を支える担い手など「スポーツを支える人」や「スポーツ環境の充実」、そして前計画における取組は、本市のスポーツ振興における強みとして、引き続き重要な要素となります。

一方、本市のスポーツを取り巻く現状は変化しています。スポーツの価値を高め、これまでの「する」「みる」「ささえる」を更に充実させるためには、状況に応じた施策の展開・見直し・改善など、これまでの取組を発展させることが必要となります。

スポーツは、市民に健康や生きがい等を生み出し、社会の豊かさを醸成するとともに、人と人、地域と地域が交流することで、地域活性化にも大きな効果が期待されます。

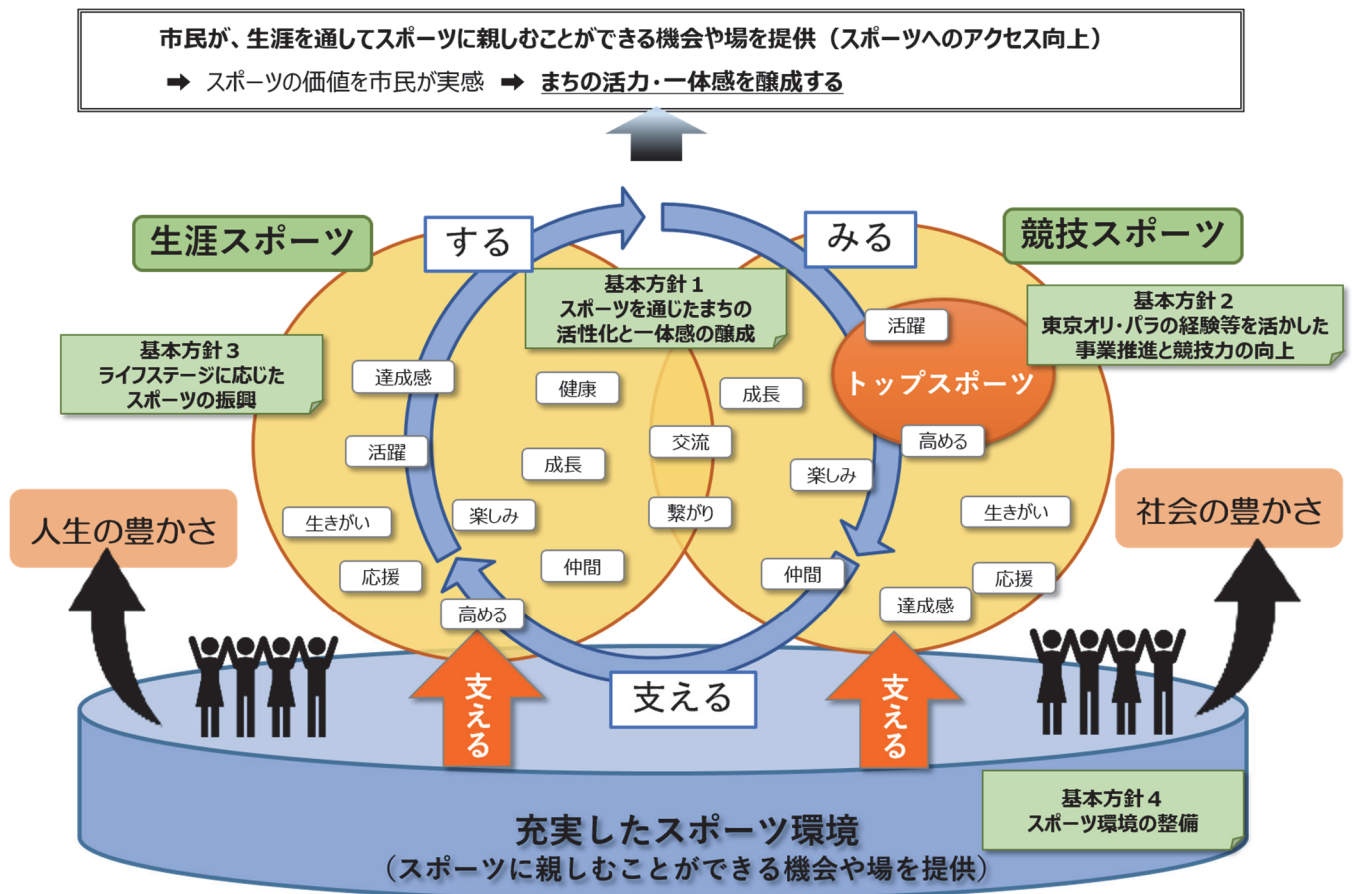
本計画では、「岡山市第六次総合計画」の政策の1つである「地域の活力を育むスポーツの振興」の実現に向け、本市のスポーツを取り巻く現状等を踏まえ、**前計画の取組を継続・発展させる**ことで、性別、年齢、障害の有無等に関わらず、全ての市民がスポーツに親しむ機会の更なる充実に取り組みます。

<sup>2</sup> 2030年を目標年次とした岡山の「目指すべき保健医療の姿」を、産・官・学・金・言で共有したもの

## 1 本計画で目指す姿

「市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境の実現」を目指し、そのための「場」や「機会」を提供します。それにより、市民が「する」「みる」「ささえる」といった様々な形でスポーツにアクセスし、スポーツの良さ・価値を実感することを通し、「市民の人生の豊かさ」、「社会の豊かさ」、更には、「まちの活力・一体感の醸成」につなげていきます。

## 《イメージ》



## 2 基本方針

本市の「第六次総合計画（後期中期計画）」の政策の1つ「地域の活力を育むスポーツの振興」の実現に向け、近年のスポーツを取り巻く環境の変化等を踏まえ、前計画の基本方針を継続・発展させるべく、4つの基本方針を設定します。

### 基本方針1 「スポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成」

- 本市をホームタウンとするトップチームへの一層の支援や大規模スポーツ大会等の誘致等を通じ、市民に夢と感動をもたらすスポーツによるまちの活力と一体感を生み出すとともに、市民の地域への愛着と誇りを醸成します。
- 県内外から多くの参加者が集まる「おかやまマラソン」の開催や、本市のスポーツを支えるスポーツ関係団体による活動を通じ、市民のスポーツ振興の機運を高めるとともに、地域コミュニティの活性化につなげます。

[SDGsとの関係]



### 基本方針2 「東京2020オリンピック・パラリンピックの経験等を活かした事業推進と競技力の向上」

- 本市の東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた取組の成果を一過性のものとせず、今後のスポーツ振興に活かしていくため、オリンピック・パラリンピックのレガシー事業を推進します。
- 本市でのスポーツ大会の開催に対する支援や、本市を代表して活躍する選手への支援等により、市民のスポーツへの関心や競技力の向上に対する意欲を高めます。東京大会を契機に高まったパラスポーツの普及・促進を図ります。

[SDGsとの関係]



### 基本方針3 「ライフステージに応じたスポーツの振興」

- 地域でのスポーツ振興を担う関係団体と連携し、市民参加型のスポーツイベントや競技大会等を開催することにより、性別、年齢、障害の有無などにかかわらず、全ての市民がスポーツに親しむ機会を充実させることに努めます。

[SDGsとの関係]



### 基本方針4 「多様な市民ニーズに対応したスポーツ環境の整備」

- 市民のスポーツ活動の拠点となるスポーツ施設の整備や設備の充実、適切な維持管理等を進め、市民がスポーツに親しむ「場」の提供に努めます。

[SDGsとの関係]



## 1 具体的施策

本市のスポーツに関連する様々な主体と連携を図り、以下の施策に取り組みます。

政策 テーマ	基本方針	具体的施策	施策の項目	
地域の活力を育むスポーツの振興	1 スポーツを通じたまちの 活性化と一体感の醸成	(1) トップチーム支援	① チームや関連団体との連携による支援	
		(2) 大規模スポーツ大会の誘致	① 大会の開催支援	
			② 大会情報の広報	
			③ 大規模スポーツ大会等の誘致に向けた	
			④ スポーツツーリズムの推進	
		(3) 地域スポーツ活動の推進	① おかやまマラソンの推進	
	② スポーツ推進委員の活動の充実			
	③ 市スポーツ協会との連携・活動支援			
	④ 大学・企業等によるスポーツ活動の推			
	⑤ 総合型地域スポーツクラブの活動の充			
	⑥ 民間企業や指定管理者等による活動の			
	2 東京 2020 オリンピッ ク・パラリンピックの経験 等を活かした事業推進と 競技力の向上	(1) オリンピック・パラリンピックレガシー事業の推進	① トップアスリート交流促進事業の推進	
		(2) 競技スポーツの振興	① 競技大会の開催支援	
			② 競技力向上事業の充実	
			③ 優秀選手激励金制度による支援	
			④ スポーツ顕彰等による支援	
			⑤ パラスポーツの普及促進	
				(再掲) 大会の開催支援、大会情報の広報、
	3 ライフステージに応じた スポーツの振興	(1) 幼児期のスポーツ振興	① 幼児等のスポーツ教室の充実	
				② 幼児期の体力・運動能力向上の推進
(2) 小・中学校期のスポーツ振興		① 市スポーツ少年団の活動の充実		
		② 岡山市子ども会育成連絡協議会の活		
		③ 中学校部活動の地域移行に向けた取組		
		④ 記録会・大会等の充実及び運動習慣定		
			(再掲) トップアスリート交流促進事業の推進、	
(3) 成年期・全世代のスポーツ振興		① 市民の健康・体力づくりの推進		
		② わがまちスポーツの振興		
		③ PHOの実現に向けた運動習慣定着化		
(4) 高齢者のスポーツ振興		① 各種スポーツ大会や講演会の開催		
		② 全国健康福祉祭(ねんりんピック)等へ		
		③ フレイル対策事業の実施		
(5) 障害者のスポーツ振興		① 各種スポーツ大会や講習会の開催		
	② 障害者スポーツ指導者の養成			
	③ 全国障害者スポーツ大会等への派遣			
(6) 新たなスポーツ等への支援	① アーバンスポーツ・ユニバーサルスポー			
4 多様な市民ニーズに対応 したスポーツ環境の整備	(1) スポーツ施設の管理及び整備	① スポーツ施設の計画的な修繕		
		② 新たな施設整備の検討		
	(2) 学校体育施設の開放	① 既存施設の維持及び利用しやすい学校		

施策の主な内容	
	「市民デー」や学校での交流事業等、支援事業の継続 / チーム・関係団体との連携事業の検討 / 試合会場確保に対する支援検討
	大会開催負担金・共催負担金による支援
	各種広報媒体を活用した情報発信
受入体制の充実	県内競技団体等と連携した大規模スポーツ大会の誘致推進（令和7年第79回国民体育大会冬季大会等）
	SPOC 機構との連携による大規模スポーツ大会等の機会を捉えたスポーツツーリズムの推進
	感染症対策を踏まえた安全で持続的な大会の開催 / 大会の魅力度の向上と本市の情報発信
	地域に密着したスポーツ推進活動及び大会の運営協力の継続 / 委員の資質向上に向けた研修の開催
	市スポーツ協会による各種スポーツ振興事業の推進 / 市スポーツ協会への各種支援・協力
進	関係機関との連携によるイベント等を通じたスポーツに親しむ環境づくり / 産学連携による分析技術の実用化に向けた研究
実	地域スポーツの普及活動 / 各クラブの現状把握や可能な支援の検討 / クラブの認知度向上に向けた情報発信
推進	企業・指定管理者・トップチーム等によるスポーツ教室やイベント等の検討及び実施
	ナショナルチーム等のキャンプ誘致事業 / トップアスリートの学校訪問等による交流事業
	後援や共催等による大会開催支援 / 各種広報媒体を活用した情報発信
	市スポーツ協会による競技団体への各種支援 / トップチームや大学等によるアスリート育成支援
	激励金制度を活用した選手への支援
	優秀な成績を収めたアスリートへの表彰 / 受賞選手と市民との交流機会の創出
	オリンピック・パラリンピックレガシー事業を通じた競技の普及促進 / 地元アスリートやチームによる普及活動への支援
大規模スポーツ大会等の誘致に向けた受け入れ体制の充実	
	指定管理者による幼児等のスポーツ教室の実施
	保育園・幼稚園・認定こども園における運動や遊びの場の提供及び職員に向けた実技研修会の実施
	市スポーツ協会による大会や指導者研修会の開催及びスポーツ少年団の魅力等に関する広報 / 「改革プラン」への対応検討
動の充実	大会の開催や指導者研修会の継続
	令和5年度以降の休日部活動の段階的な地域移行化に向けた諸課題への対応 / 部活動指導員配置の推進
着化の促進	運動習慣定着化事業の継続・充実 / 市小学校・中学校体育連盟による事業の継続
市スポーツ協会との連携・活動支援、大学・企業等によるスポーツ活動の推進、民間企業や指定管理者等による活動の推進	
	広く市民が参加できる大会やイベントの実施及び周知 / 学区体育協会等への支援を通じた市民のスポーツ活動の充実 誰もが日常生活で気軽にできる運動等の普及
の促進	建部地域におけるカヌー競技、瀬戸地域におけるホッケー競技の振興 / 大会共催負担金や情報発信による支援
	健康維持・増進へ向けた運動の普及を通じた運動習慣化の動機付け
の派遣	高齢者の健康維持に資する各種大会や講演会等の実施
	本市選手団の派遣
	フレイル健康チェックやフレイル予防の周知広報
	スポーツ講習会や各種スポーツ大会の開催 / 各種広報媒体を活用した大会等の情報発信 / パラアスリートとの交流機会の創出
	障害特性に応じた指導者講習会の開催や講習会受講者の派遣 / 指導者養成事業の紹介等の情報発信
	本市選手団の派遣
ツの普及	大会開催負担金等の支援メニューの活用 / オリンピック・パラリンピックレガシー事業を通じた競技の普及促進 / 大会や体験イベント、講習会等の継続的な展開
	「岡山市公共施設等総合管理計画に基づく個別施設計画（スポーツ施設）」に基づく計画的な維持修繕等の実施
	利用状況や市民ニーズを踏まえた新たな施設整備についての検討
施設の検討	施設の適切な維持及び設備の充実 / 施設の利便性の向上の検討



## 2 成果指標

「市民一人ひとりが生涯にわたってスポーツに親しむことができる環境の実現」を目指し、本計画における基本方針ごとに、関連する成果指標を以下のとおり設定しました。

### 基本方針1 「スポーツを通じたまちの活性化と一体感の醸成」

成果指標	基準値	目標値
トップチーム公式戦の観戦経験者(テレビ・インターネット観戦を含む)の割合(4チームの平均値・直近3年間)	15.0% (令和3年度)	45.0% (令和8年度)
おかやまマラソン EXPO 来場者	145千人 (令和元年度)	150千人 (令和8年度)
おかやまマラソン ボランティア参加者のうち、次回以降も参加したい人の割合	85.0% (令和元年度)	90.0% (令和8年度)

### 基本方針2 「東京2020オリンピック・パラリンピックの経験等を活かした事業推進と競技力の向上」

成果指標	基準値	目標値
大会や試合の観戦経験者の割合	62.1% (令和3年度)	77.5% (令和8年度)
パラスポーツに関心がある人の割合	44.4% (令和3年度)	50.0% (令和8年度)

### 基本方針3 「ライフステージに応じたスポーツの振興」

成果指標	基準値	目標値
成人の週1回以上のスポーツ実施率	39.9% (令和3年度)	65.0% (令和7年度)
成人のスポーツ未実施者率 (1年間に一度もスポーツをしない人の割合)	39.7% (令和3年度)	20.0% (令和7年度)
運動やスポーツをすることが好きな小学生の割合(小学5年生 男子)	90.1% (令和3年度)	94.0% (令和8年度)
運動やスポーツをすることが好きな小学生の割合(小学5年生 女子)	78.5% (令和3年度)	88.0% (令和8年度)
運動やスポーツをすることが好きな中学生の割合(中学2年生 男子)	88.2% (令和3年度)	90.0% (令和8年度)
運動やスポーツをすることが好きな中学生の割合(中学2年生 女子)	76.4% (令和3年度)	81.0% (令和8年度)

### 基本方針4 「多様な市民ニーズに対応したスポーツ環境の整備」

成果指標	基準値	目標値
公共スポーツ施設が充実していると感じている人の割合	32.9% (令和3年度)	50.0% (令和8年度)
スポーツ施設情報サイト(LIFE おかやま)におけるスポーツ施設情報へのアクセス数	70,659件 (令和3年度)	74,000件 (令和8年度)

第2期 岡山市スポーツ推進計画(2022-2026)  
概要版

岡山市

市民生活局 スポーツ振興課

岡山市北区大供一丁目1番1号